

# 箕面市立多文化交流センター 利用者等による意見交換会

～ご意見に対する指定管理者の考え方・対応～

令和7年9月

指定管理者

公益財団法人箕面市国際交流協会

項	ご意見（要約）	考え	件数
1	センター利用状況について、平日と土日で稼働率が多いのはどちらなのか。	土曜日の午前中は主催事業（日本語教室と外国にルーツを持つ子どものための事業）でほぼ毎週満室になる。日曜日は定期的に借りている団体が多い。平日については、センター主催の定例事業で押さえられていることが多い。夜間は習い事系のグループが定期的に使っているが、比較的空いているので、料金体系を見直すなどして利用促進を図っていきたい。	1
2	多民族フェスティバルについて、一昨年まで小野原公園で大きく開催していたが、去年はセンター施設内の開催になった。協会のマンパワーが大変だと聞いてはいるが、今後、以前のようなスタイルでの開催は厳しくなるのか	ボランティアも高齢化しており現状の組織体制では協会単独での主催は厳しいことが予想される。近隣団体と役割分担しながら、「オール小野原」としてのイベントであれば実現可能だと思う。ニーズもあるが、「やりたい」と「できる」は違うので、地域で話し合わないといけない。課題整理のためのブレインストーミングから開始し、ニーズとやりたいこと、やれることが合致する領域を探っていきたい。	1
3	10/19に春日神社でおまつりがあり、飲食ブースを出してほしいといわれているが、国際交流の目的で協会も出店できないか。地域の外国人市民にも来てもらいたい。	神社が主催のイベントとなると、特定の政治・宗教に関する事業への参加はできないため、小野原公園での出店エリアは違うイベントであることをはっきりしてもらえれば、協力は可能かと思う。	1

項	ご意見（要約）	考え	件数
4	私たちの団体は多文化交流センターの減免団体だが、チカノバでも減免適用されるのか。	減免は施設ごとに認定するため、チカノバでは減免適用されない。利用料金は、メインのギャラリーで午後の料金だと 7,150 円。例えば、ニュージーランドのメニューをカフェで出し、ワインの試飲会をギャラリーでする、といったコラボ企画はできると思う。飲酒をするのであれば、場所としては駅近の方が好ましいと思うが、チカノバの場所代が少し高いなら、センターのコムカフェも 4 時間 5,500 円で貸し出せる。	1
5	学習者も交えた交流会を年に 1 回するが、施設内のほとんどのスペースが飲食禁止になっているので活動が制約される。昨年は蓋つきの飲み物と個包装のお菓子を選ぶなど工夫したうえで、カーペットの部屋をお借りしたが、飲食を交えた方が参加者との交流も促進された。もう少し飲食可能なスペースを増やすなど、何か手立てはないだろうか。	2 年ほど前に、子ども向けのアート教室をされた団体が、全面的にブルーシートを敷いて壁にも目張りをするという条件で講座室を使われたが、結果的にシートの隙間から絵具がこぼれて漏れてしまい、広い範囲でカーペットを取り換えてもらうことになった。費用は利用者が弁償したが、10 万ぐらいかかったと聞いている。施設ができるて 10 年以上になるので、同じ種類のカーペットが入手できなくなっている。全面的に張り替えてもらわないとけなくなる。修繕の予算にも限りがあるので、カーペットの部屋での飲食はやはり厳しい。	1
6	夏休みの居場所として 2 階のロビーが解放されており、時々見守りボランティアで関わっているが、ちょっとしたおにぎりやサンドイッチはOKにしたことで、とても助かるとの保護者の声が聞こえてきた。	ロビーは一時、中学生くらいの子ども達がたくさん集まって、とても荒れたことがあった。大きな声で騒いだり、ソファが壊されたり、トイレにカップ麺が捨てられたりなどしたことがあった。ただ、ロビーや会議室などフローリングのスペースは掃除すればきれいになるので、といった場所での飲食は緩和を検討しようと考えている。	1